

**令和5年度「孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査」  
劇場等文化施設を活用した孤独・孤立対策のための  
地域交流拠点の整備 モデル調査事業**

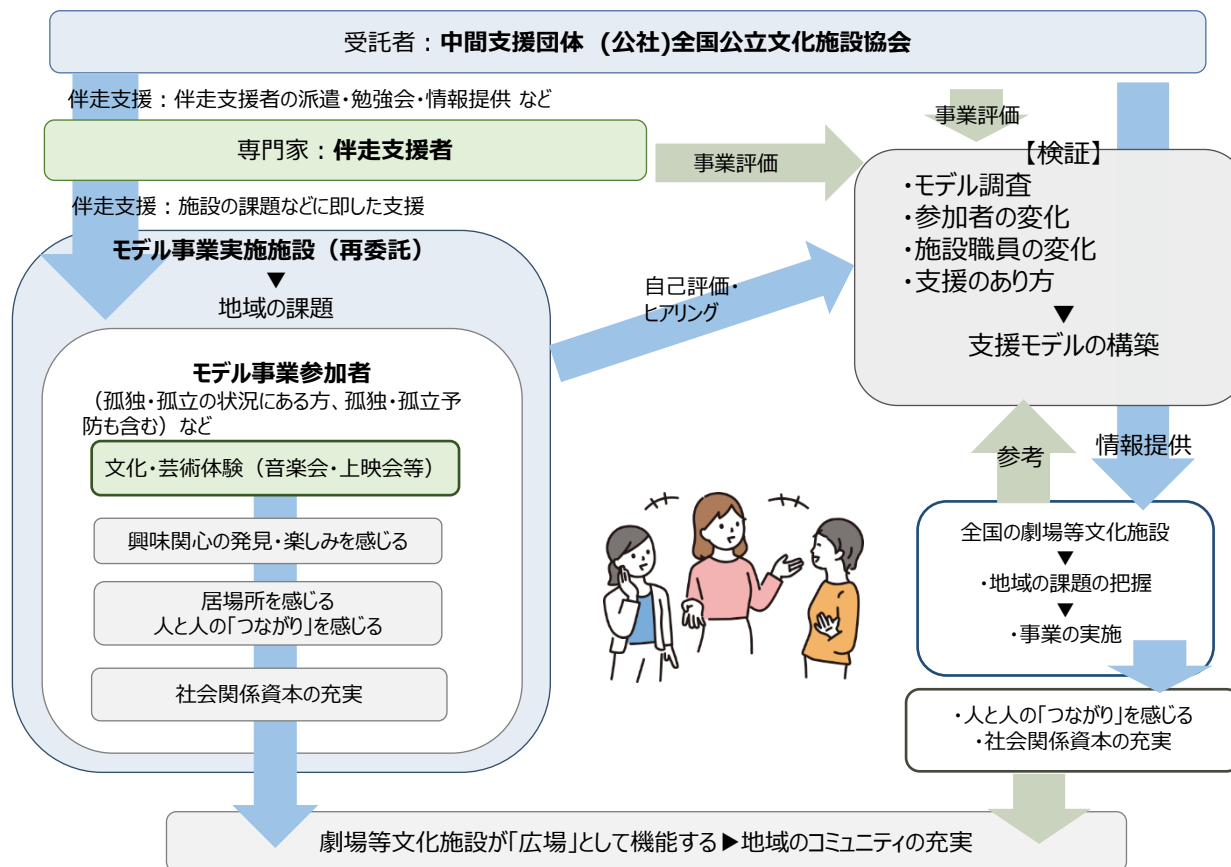
**調査報告書 概要版**

**団体名：公益社団法人全国公立文化施設協会**

# 1. モデル事業の概要

## 事業の目的と全体像

劇場等文化施設が地域の課題解決の“場”として機能するために中間支援組織としてのきめ細かい支援のあり方や地域団体（地域の文化芸術関連組織、異分野関係団体やNPO団体、など）との連携のあり方などの運営方法を検討するとともに、地域におけるニーズ及び効果を把握する手法を試行し、将来のモデルとなる仕組みを導き出すものとする。



## 2. 劇場等文化施設におけるモデル事業実施の概要

### スキーム（実施体制と役割）とスケジュール

#### 中間支援団体（全国公立文化施設協会）

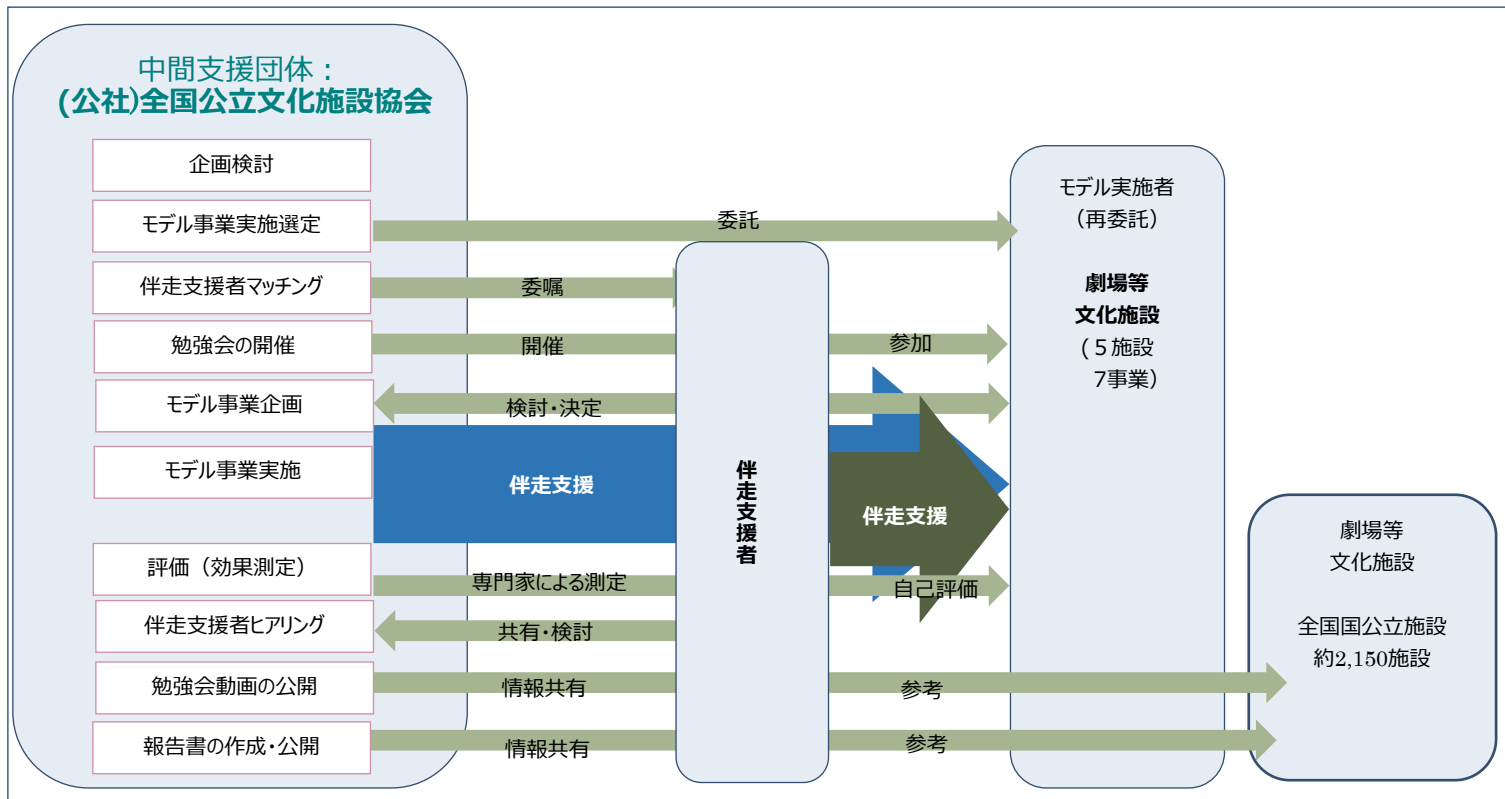
……実施団体の選定、伴走支援者の派遣、勉強会、情報提供をおこなう

#### 伴走支援者

……施設の課題などに即した支援をおこなう

#### モデル事業実施施設〔再委託〕

……伴走支援者からの支援を通して、事業企画を行い、会場としてモデル事業を実施



# 全体スケジュール

- STEP1** 立地特性、対象者属性、実施主体などを勘案し5地域（5団体8事業）を選定  
**STEP2** 全体勉強会の開催および、各団体に対して伴走支援者マッチングを実施  
**STEP3** モデル事業を実施（実施結果 5施設7事業 ※）  
**STEP4** 実施団体および、伴走支援者双方のアンケートによる評価

| 実施内容              | R 5 年9月         | 10月       | 11月        | 12月    | R6年1月                   | 2月                 | 3月   |
|-------------------|-----------------|-----------|------------|--------|-------------------------|--------------------|------|
| 1) 事業計画           | ● 詳細検討<br>支援者決定 |           |            |        |                         |                    |      |
| 2) 実施団体<br>選定     | ● 選定/決定/打合      |           |            |        |                         |                    |      |
| 3) 勉強会の<br>実施     | ● 内容/講師選定       |           | ● 実施       |        |                         | ● 動画公開             |      |
| 4) 伴走支援員          | ● 支援施設<br>マッチング | ● 支援者打合せ  | ● 支援(4回程度) |        |                         | ● ヒアリング<br>(アンケート) |      |
| 5) モデル事業          | ● 検討            | ● 詳細検討/準備 | ● 実施①      | ● 実施②  | ● 実施③<br>自己評価           | ● 報告/精算            |      |
| 6) 事業評価<br>(効果検証) |                 | ● 評価方法検討  | ● 現地調査     | ● 現地調査 | ● 実施者自己評価<br>現地調査・ヒアリング | ● 評価<br>とりまとめ      |      |
| 7) 報告書            |                 |           |            |        | ● 構成検討                  | ● 作成               | ● 提出 |

# 中間支援①事業実施に向けた基礎勉強会

**モデル事業実施施設の職員を対象に、前提となる事業意義、必要性等の基礎知識を得る機会として、基礎勉強会を実施**

進行：吉野さつき氏



## 講義① 講師：大西連氏

自立生活サポートセンター・もやい 理事長

### 国の孤独・孤立対策の動向 基礎知識や考え方

劇場・音楽堂等が地域のコミュニティづくりに取り組むことと、「孤独・孤立」がどのように結びつくか。

## 講義② 講師：小山田徹氏

京都市立芸術大学 教授

### 文化施設での事業、取組 アートを通じたアプローチ

「共有空間の獲得」をテーマにこれまで携わった取組について講義がなされた。



**モデル事業実施に向け  
理解を深める**



**公共性を帯びた劇場・音楽堂等は芸術創造・鑑賞・活動をする場**

**考え方……地域でつながりを持てる場や機会があることで社会全体が豊かになる  
福祉的領域に寄せることなく、さまざまな共同を通し考えることに孤独・孤立対策の可能性がある**

## 中間支援②伴走支援者の派遣

各団体の地域性や事業遂行のためのニーズのヒアリングを行い、実施にあたっての課題に個別に対応できる伴走支援者を選任し、派遣をおこなう

| 伴走支援者                                                  | 派遣先団体名・施設名                               |
|--------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>杉本 創 氏</b><br>市民シアター・エフ(深谷シネマ) 監事<br>生活協同組合東京高齢協 理事 | (公財) 板橋区文化・国際交流財団<br>板橋区立文化会館            |
| <b>西 智弘 氏</b><br>(一社)プラスケア<br>川崎市立井田病院                 | (公財) 川崎市文化財団<br>ミューザ川崎シンフォニーホール          |
| <b>古橋 敬一 氏</b><br>愛知学泉短期大学 講師<br>クリエイティブ・リンク・ナゴヤ 理事    | (公財) かすがい市民文化財団<br>春日井市文芸館 (文化フォーラム春日井)  |
| <b>大澤 寅雄 氏</b><br>合同会社文化コモンズ研究所<br>共同代表                | (公財) いたみ文化・スポーツ財団<br>伊丹市立文化会館 (東りいたみホール) |
| <b>永山 智行 氏</b><br>劇団こふく劇場 代表                           | 三股町、(公社) 全国公立文化施設協会<br>三股町立文化会館          |

### 3. モデル事業の実施報告と成果

#### 取組① (公財) 板橋区文化・国際交流財団 (会場：板橋区立文化会館)

##### 映画上映会「おおやまレトロシネマ」

レトロをテーマとした映画上映会を行い、上映後に感想話し合いの場を設ける

##### ロビー開放事業

バックヤードツアー、高齢者ファッションショー、ロビーピアノ商店街イベント等により文化会館を身近に感じてもらう

#### 取組② (公財) 川崎市文化財団 (会場：ミュザ川崎シンフォニーホール)

##### ENGAWAプロジェクト

ロビーのベンチを使い、コンサート来場者が気軽に立ち寄れる他者とのコミュニケーションの場を創出

##### コンサートにおける介助支援サービス事業 ※実施なし

コンサート時における高齢者への来場サポート

#### 取組③ (公財) かすが市民文化財団 (会場：文化フォーラム春日井)

##### あなただけの“とっておき”のアルバムをつくろう

写真を見返しアルバム作成し人生の整理をする時間や、参加者同士の時間の共有をする機会とする

##### モヤモヤの正体 わたしと身体のかかりを知る

自身で感じるもやもやした気持ちを他者と共有しゆるやかな交流を図る

#### 取組④ (公財) いたみ文化・スポーツ財団 (会場：東り いたみホール)

##### つくるスペース オマルトヴェンザーのふきだし

不登校・ひきこもりの児童・生徒に鑑賞や創作の機会を提供。参加を通じ楽しみや心地良いと感じられる場の創出を目指す

#### 取組⑤ 三股町・全国公立文化施設協会 (会場：三股町立文化会館)

##### おいしい音のコンサート

食にまつわる音をテーマとしたコンサート鑑賞と鑑賞後に軽食を楽しむ

手法  
映画 写真  
音楽 アート  
共有空間



芸術文化活動への参加 → 外出や他者とのコミュニケーションや交流の契機

## 伴走支援の方法

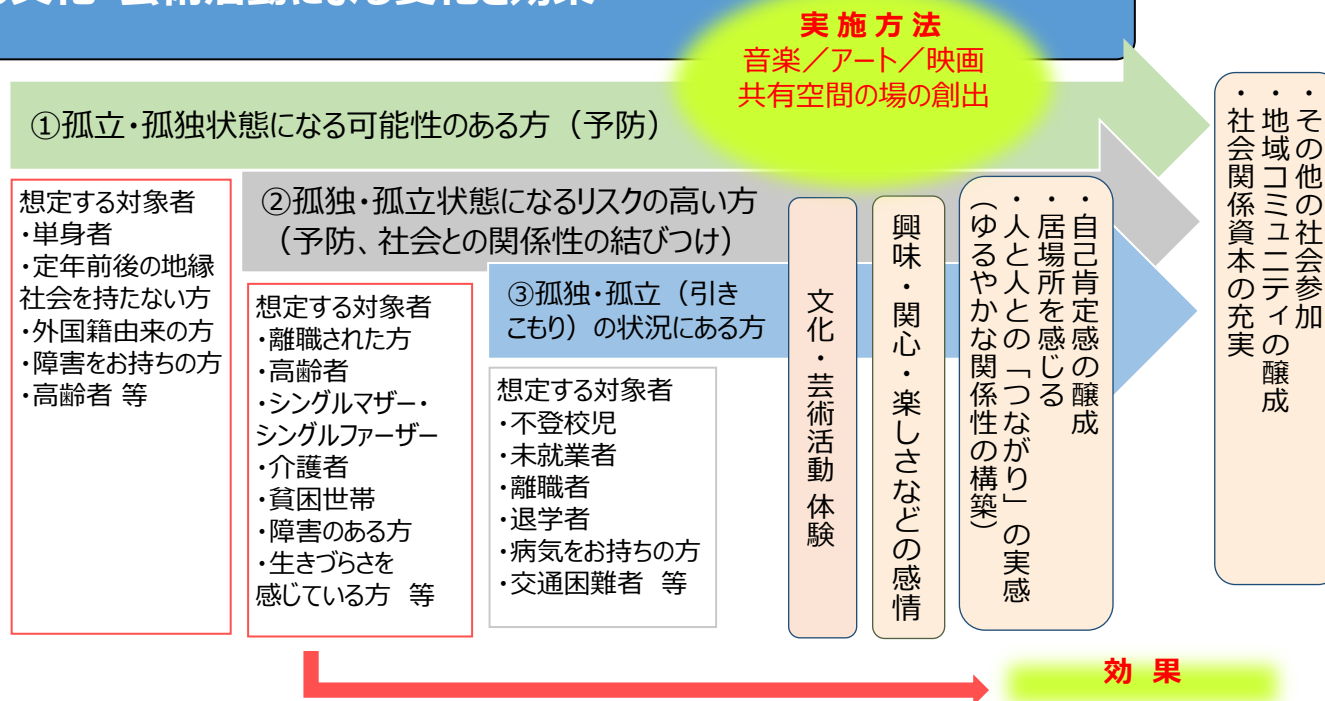
| 施設名                     | 伴走支援の内容                                                                               |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 板橋区立文化会館                | 委託団体と東京高齢協等、関係組織へのパイプ役となり、情報提供や企画運営における役割分担をおこなう                                      |
| ミューザ川崎<br>シンフォニーホール     | 職員に対して「劇場における交流の場の創出」に関して理解促進を図るため、コミュニケーションの場を具現化するにあたる助言、自己評価についての助言をおこなう           |
| 春日井市文芸館<br>(文化フォーラム春日井) | 「文化施設という立場からの孤独・孤立支援」事業フレームに対する企画段階からの指導助言<br>チラシコピーへのアドバイス、プロデューサーの講師との企画調整への参画、サポート |
| 伊丹市立文化会館<br>(東りいたみホール)  | 事業企画・広報についての社会的意義を客観的に評価し、参加者や職員の変化を図る。今後の展開に対する指導助言                                  |
| 三股町立文化会館                | 実施団体との仲介および、実施団体の案内や企画内容の意義の説明、実施方法についての提案                                            |

## 4. モデル事業の成果

想定する対象者 ①孤立・孤独状態になる可能性のある方  
②孤独・孤立状態になるリスクの高い方

参加者へのアンケートの自由記述から、外出意欲の助長や他者との交流への促進へつながる効果を得られたものと推察。

### 期待される文化・芸術活動による変化と効果



## モデル事業からの示唆

### ① 参加者の声（アンケートから）

「家族以外と殆ど会話をしていなかった」「やっと外に出られるようになった（のでこうした機会を続けてほしい）」

➡ 状況変化のきっかけとなる傾向もみられた。

### ② 孤独・孤立対策における芸術文化の可能性

芸術文化への参加を契機として、外出や、他人とのコミュニケーションや交流のきっかけとすることの優位性は高い。

➡ 鑑賞、活動参加は個人の能力は問われず、敷居が低いといえる。

### ③ 孤独・孤立対策における劇場等文化施設の可能性

事業の参加を通じて劇場・音楽堂等に足を運ぶことで、参加者同士のゆるやかなコミュニティが生まれる。

➡ 劇場・音楽堂等は新しい社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）を育む場として機能することが可能であることが示唆された。

**公立文化施設が家庭や学校以外の第3の居場所として位置づけてもらう可能性を見出すことができた**

## 5. 他地域への横展開の可能性の検討

### モデル事業（中間支援団体が支援に入ること）の社会的意義と波及効果

- 弊協会は劇場等文化施設を統括する団体であり、全国の会員や関係機関を通して情報・実施ノウハウの共有が可能である。またモデル事業の実施施設から、地域性や・団体の規模等を鑑み、モデルを基とした展開が派生することで、広く事業の波及を進めることができる。

